

内村鑑三記念キリスト教講演会

内村鑑三は、その生涯をもって「後世への最大遺物」としての生き方を示し、そして辞世の言葉の中に「人類の幸福・日本国の隆盛・宇宙の完成」への祈りを残しました。しかし、内村の召天から一世紀近く、その間に人類はいくたびか戦争・内乱を繰り返し、自然破壊を引き起こし、現在は確たる制御も不分明なまま科学技術（核・IT・AI等）を手にし、かつてない混迷の中にあると言っても過言ではありません。

聖書は何を語るのでしょうか、それを内村はどのように受け止めることを提起するのでしょうか。私どもは、毎年3月、内村鑑三記念キリスト教講演会に於いて、その時代の課題を念頭に、語り合い、考え合い、共励の場としてまいりました。本年は、下記の2講師に、ご講演頂きます。皆様のご参加をお待ちしております。

司会 聖書と内村鑑三に学ぶ会 大山 綱夫

【講演】

「よろずの国民よ、悔い改めよ」

渋谷聖書集会 森山 浩二

「苦難の位置付け——ヨブ記および旧約聖書と新約聖書の対比」

国立聖書研究会 加納 貞彦

【日時】 2024年3月24日（日）午後2時（受付開始1時30分）

* 予定していました林良信氏は、都合で講師を交代しました。

* 講演終了後に「講師を囲む懇談会」を持ちます。自由参加 午後5時～5時30分

【会費】 1,000円（学生500円） * 申し込みはオンライン参加の場合のみ必要

【場所】 今井館聖書講堂（右図参照）

【主催】

内村鑑三記念キリスト教講演会運営委員会

【問い合わせ】

電話：NPO法人今井館教友会 03(6277)5669

（担当：荒井克浩）

メール：uchimurakinen-2023@yahoo.co.jp

（担当：宮崎文彦）

【オンライン参加方法】

お名前・ご住所・電話番号・メールアドレスをご記入の上、2月末日までに上記問い合わせ先にメールにてお申し込み下さい。会費の振り込み方法等、折り返しのメールにてご連絡いたします。

